

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	頭部血管肉腫の放射線治療施行時のボーラス下の隙間が及ぼす線量低下と局所再発に関する後方視的観察研究 (B26-034)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院放射線部・主任 石上 稔
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	放射線治療で用いられているX線は体表面から数 cm の深さで線量が最大となる特徴を有しています。腫瘍が体の深部に存在する場合にはこの特徴を利用することで腫瘍に最大線量を投与することが可能となります。一方で、頭部血管肉腫のように頭皮を治療する場合には「ボーラス」と呼ばれるシート状の柔らかい素材を頭皮に載せ、皮膚面が最大線量となるように厚みを調整してから照射が行われます。この際ボーラスは頭皮に密着させる必要がありますが、曲面を有する頭部にボーラスを常に密着させ続けることが困難で度々ボーラスと頭皮との間に意図しない隙間が生じてしまうことが臨床上の問題となっています。 本研究は、過去に当院で放射線治療を受けた患者さんの放射線治療施行時のボーラスと頭皮との隙間の量を解析することで、隙間が及ぼす線量低下と局所再発との関連性を明らかにしようとするものです。
調査データ 該当期間	2014 年 5 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2014 年 5 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日までの期間内に当院で頭部血管肉腫の放射線治療を行われた方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014 年 5 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までの電子カルテ内に記載のある診療記録（年齢、性別、現病歴、死亡日、抗がん剤の種類、症状・所見）、放射線治療データ（X 線照射線量、CT 画像および治療計画データ）を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、日本学術振興会 科学研究費助成事業（科研費）を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学病院放射線部・主任 担 当 者：石上 稔（イシガミ ミノル） 電 話：042-778-8405
備 考	